

第201回:「虎退治キャンペーン」のレジュメ

月日の経つのは早いもので、大学を卒業して今年で40年になる。寄る年波には勝てず、最近は何も忘れがひどく、学問はともかく革命やら恋愛やらで諸事多忙であった吾が青春の Rolling 60's & 70's は、往時渺茫として夢に似たりとなりつつある。大学の OB 会には加入しているものの、これまで同窓会をやろうと云い出した仲間が一人もおらず、いつの間にか40年が経過してしまった。そんなクールな連中が、そろそろ引退退職の年齢に差し掛かり、浮世の義理やしらがなくなった途端に、ハゲと白髪の大軍として群れ集うようになったから不思議なものである。

昨秋、約150名が参加して同窓会を開いたとき、幹事が気を利かせて44年前の試験問題(英・数・国)を会場に貼り付けていたのが面白かった。さすがに商売道具の英語と国語は解けたが、数学は解答どころか設問の意味がよく理解できなかったのが悲しかった。高校は私立受験校だったせいで、あの頃はそれなりに勉強したつもりである。親も受験用の出費は認めてくれたので、卒業時にはちょっとした参考書・問題集の蒐集家となっていた。受験では「社会」のなかで日本史と世界史を選択したが、後者で大事なものは闇雲に暗記することだ。だから吉川弘文館や山川出版社の参考書や解説書、歴史地図帳を何冊か買ったが、最も役立ったのは人名や専門用語だけを集めた「キーワード集」のようなテキストであった。

それから40年経ち、いま中国問題を分析したり、こんなコラムを書いたりしているわけだが、何か書こうとするとき、咄嗟に重要な用語や人名が多数出て来るわけがない。こんなとき「キーワード集」があれば便利なのだがと、愚痴の一つも言いたくなる。いま習近平が政権強化に向け進めている政治運動と、その裏で密かに展開している権力闘争は複雑怪奇な様相を呈しており嫌疑、拘束、変死、失脚等、有象無象の手合いが多数登場し、とてもじゃないが暗記では対応できない。「キーワード集」でもあれば高くても喜んで買ったがと、ぶつぶつ呟きながら論文の準備のために準備しているのがこんな類のレジュメである。

- 10年続いた**胡錦濤**政権は引退年齢に関する党の規約により、2012年秋の**第18回共産党大会**をもって政権交替する手順となっていた。新しい指導者は党大会における選挙で選ばれることになるが、5年前の党大会で決定された党内序列を見れば、**習近平**と**李克強**を中心とする執行部が誕生するのは誰の目にも明らかであった。
- その「既定路線」を覆そうと企んだのが、「**太子党**」の出身で**重慶市**の党書記を勤めていた**薄熙来**(**政治局委員**)。彼は胡錦濤以下の**政治局常務委員**(9名)の中から、序列こそ末席だが公安・検察・**武装警察**と云う強大な権力を握る**周永康**と組んで政権奪取に動き出した。その手段として彼が地元の重慶市で発動した政治運動が「**打黒唱紅**」。現政権と癒着する重慶の**黒社会**(暴力団組織)を撲滅し、共産主義の理想を追求する(**唱紅**)、良く云えば**毛沢東**時代の平等であった時代に回帰しようとするユートピア運動、悪く云えば**文化大革命**のようなポピュリズムによる大衆動員型政治運動。
- 薄・周コンビは、いまでも隠然たる勢力を持つ**上海閥**(高度成長の恩恵と、既得権を個人的にも享受した特権階級)の**江沢民**派(元**党総書記**)の支持も取り付けようと動いた。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

- この動きに危機感を抱き反撃に転じたのが、円満な政権禅譲を目指す胡錦濤と習近平の新旧勢力。彼らは薄熙来の不正汚職の摘発に動き、薄夫人の英国人殺害事件や、部下の公安局長の米国亡命事件等を利用して彼の失脚・逮捕・有罪判決に成功し、習近平政権は無事に船出した。
- 習近平政権が誕生して1年が経過したが、現政権は腐敗汚職根絶の手を緩めておらず、その矛先は周永康本人と、江沢民の金城湯池(一部の産業界とその人脈)に向けられており、最近では周永康の出身母体である**石油派**(石油業界)や、江沢民の勢力下にあった**鉄道部**を頂点とする鉄道業界において要人の拘束や失脚が相次いでいる。いまのところ、「周永康失脚説」に対し、中国政府は否定も肯定もしていないが、彼の腹心、秘書、部下等の相次ぐ(しかも露骨な)失脚劇をみると、彼の政治生命は完全に断たれたと断言できる。(刑務所に收容されるか否かは別問題だが)。
- 習近平が権力を確立するための内部闘争はいま終盤戦に差し掛かっており、周永康の失脚により大勢は決した感があるが、習近平がどこまで政敵を追及するかが、今後のポイント。**人民解放軍**の摘発まで断行する度胸が有りや無しや。
- **関連人名**: **薄一波**(薄・実父)、**王岐山**(周派・中紀委)、**曾慶紅**(江派・太子党)、**栗戰書**(習派・腹心)、**劉源**(習派・盟友)、**文強**(黒社会・処刑)、**王立軍**(薄派・亡命)、**谷開来**(薄夫人)、**ヘイウッド**(毒殺)、**白中仁**(中鉄・自殺) 以下失脚の高官—**劉志軍**(鉄道部長)、**劉鉄男**(江派・経済官僚)、**雷政富**(薄派・盗撮)、**範悦**(盗撮)、**李春城**(周派・四川)、**郭永祥**(周派・四川)、**李崇禧**(周派・四川・元秘書)、**蔣潔敏**(ペトロチャイナ)、**王永春**(同左)、**李華林**(同左)、**李東生**(周派・公安)
- **関連用語**: **双規**、**中紀委**、**中央八項目規定**、「**虎と蠅**」、**整風**、**入常不罪**・**入政不死**

上記のキーワードを使って検索すれば、いま中国で進行中の習近平の虎退治に関する情報が多数入手できる。因みに「汚職の陰に愛人あり」は万国共通の現象だが中国は極端だ。むかし中国建設銀行のトップが汚職で起訴されたとき、彼の弁護士は「私はこれまで30数人の政府高官の弁護を行ってきたが、彼はそのなかで唯一愛人を持たない実に立派な腐敗官僚である」と弁護したことがある。それにひきかえ、範悦、雷政富は典型的な腐敗官僚であり、彼らの氏名と「愛人」の2つのキーワードで「画像検索」すると、濡れ場シーンが一杯登場する。因みに「**入常不罪**・**入政不死**」とは近々破られることになりそうな過去の不文律、「悪事を冒しても、政治局常務委員は罪に問われない、政治局委員は死罪を免れる」の意だ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年1月8日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。